

地域の中で笑顔の花を咲かせよう

～柳井まつりで、ちびっこ屋台を成功させよう～

教科・領域 総合的な学習の時間

柳井市立柳東小学校5学年

キャリア教育の観点

地域協育ネット(しらかべネット)子ども広場において、ちびっこ屋台を出店する体験活動を通して、働く楽しさや地域の方々と関わることの楽しさに気付くとともに、普段の学習や生活の中での学びが自分の将来の夢や職業に役立ち、つながっていることを実感することができる活動です。

【人間関係形成・社会形成能力】【キャリア・プランニング能力】

事前学習

地域協育ネット(しらかべネット)子ども広場において、ちびっこ屋台を出店するまでに、以下のような流れで授業を行った。なお、事前学習から事後学習まで、地域の商工会議所の方を中心とするちびっこ屋台推進委員会の方をゲストティーチャーに迎えた。

【ちびっこ屋台推進委員会の方との授業の流れ】

事前学習	1回目	・商売の基本について、班分け、販売品目の決定
	2回目	・仕入れについて考える。各班ごとに仕入れ数量と売値の策定
	3回目	・POP作成、包装講習、店舗レイアウト
	4回目	・実習リハーサル、声かけ、金銭の受け渡し、営業準備最終確認
屋台実習		・柳井まつりにおいて出店・実習
事後学習		・決算、まとめ

授業の導入では、地域の祭りを盛り上げたい、みんなに楽しんでもらいたいと願う、ちびっこ屋台推進委員会の方々と接する中で、児童が地域のよさに触れ、自ら地域に働きかけていきたいという思いを広げながら進めていった。

学習では、社会の中でいろいろな世代の地域の方と接するので、国語科の敬語や丁寧な言い方の学習に触れながら、お客様に対して、礼儀正しい言葉遣いをすることを意識させた。また、実際のお金を扱うので、おつりなど間違えないように算数科の計算や暗算、電卓の使い方などの大切さに触れるなど、普段の学校の学習とのつながりを意識させながら進めていくように心がけた。

また、学校生活の中で元気で気持ちのよい挨拶をすること、相手の気持ちを考えて行動、声かけをすること、掃除をして気持ちのよい環境を作ることなど一つ一つが社会でもとても大切なことであることを伝えた。



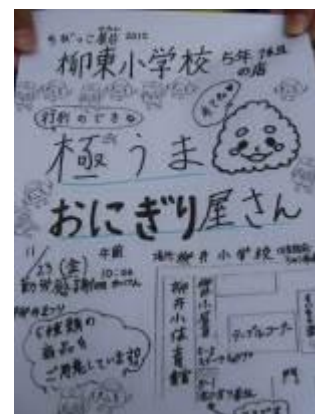
屋台実習

屋台当日は、地域協育ネット(しらかべネット)子ども広場において、他の小学校の児童とともに屋台を出店した。

会計係、商品の紹介係、包装係など一人一人が役割分担をして活動を行った。地域の多くの方に来ていただき、児童はこれまでの練習の成果を発揮しながら生き生きと活動していた。初めてのことに戸惑う場面も見られたが、友達と相談、協力しながら活動していた。「また買いに来るね。」「すごいね。頑張っているね。」とお客様に声をかけられ笑顔で接客している姿が印象的だった。

保護者にも児童の見守りなど協力をお願いした。保護者からは「家でも計算や電卓の練習をしていました。親子で一緒に楽しみました。」「とてもいい経験ができました。みんな一生懸命でとてもよく接客できていたと思います。」などの感想があった。

これまで授業で関わってくださったちびっこ屋台推進委員会の方々から、児童の頑張りやよかったところを伝えて頂くと、児童は、ほっとした気持ちと達成感でいっぱい表情だった。



事後学習

事後学習では、店の収支について学ぶとともに、この経験を生かして、これから、自分がしたいこと・できることを考えながら生活することの大切さについて考える時間をとった。今までとは一味違った柳井まつりへの参加を通して、地域の中での自分について改めて気付くことができたと思う。



考察・課題

地域の方々と関わることを通して、故郷のよさに気付き、自分から進んで地域に関わっていきたい、役に立ちたいという思いや願いが少しでも広がったのではないかと思います。また、普段の学校生活で学んでいること一つ一つが社会に出たときに大切であること、学びがつながっていることに気付くことで、夢や目標をもち、なりたい自分を見つめることができたと思う。

今後は、さらに学校での行事や活動、学年間の関連を結び付けながら児童の思考がよりつながりのあるものにするために計画・実施・振り返りをしていくことが大切である。